

## 2022年1月1日～2023年3月15日の間に 当院において股関節、膝関節単純X線検査を受けられた方及びご家族の方へ

### 「単純X線画像における骨硬化像の診断能向上における周波数処理の検討」への 協力をお願い

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者 川崎医科大学総合医療センター 中央放射線部 診療放射線技師 城野 弘樹  
研究分担者 川崎医科大学附属病院 中央放射線部 診療放射線技師 佐伯 悠介  
川崎医科大学総合医療センター 中央放射線部 診療放射線技師 吉田 誠

#### 1. 研究の概要

大腿骨近位部や、脛骨近位部の骨折が疑われる場合はまず初めに単純X線検査(レントゲン検査)が行われます。レントゲン上で骨のずれが大きい場合には骨折の診断が容易ですが、ずれがほとんどない骨折においては診断が困難となる場合があります。このような骨折は、骨折部を起点に骨が圧縮され、レントゲン上で白く映る骨硬化像という所見が確認できる場合があります、不完全骨折の診断に重要となります。そこで本研究では骨硬化像の視認性を向上させる最適な周波数処理パラメータについて検討を行います。

#### 2. 研究の方法

##### 1) 研究対象者

2022年1月1日～2023年3月15日の間に川崎医科大学総合医療センターにて、股関節正面または膝関節正面単純X線検査を受けられた方を研究対象とします。

##### 2) 研究期間

倫理委員会承認日(実施許可日)～西暦2025年12月31日

##### 3) 研究方法

2022年1月1日～2023年3月15日の間に当院にて股関節正面または膝関節正面単純X線検査を受けられた方のレントゲンを対象とし、撮影した画像に3種類の画像処理パラメータを使用します。各画像処理で大腿骨頸部、脛骨近位部の不完全骨折の視認性を比較し、最適な処理パラメータについて検討を行います。

##### 4) 使用する情報の種類

股関節正面または膝関節正面単純X線検査の画像情報等

##### 5) 情報の保存、及び二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学総合医療センター画像診断センターで保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピュータ

ーに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会に承諾を得ます。

#### 6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2023年10月1日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

#### <問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学総合医療センター 中央放射線部

氏名：城野 弘樹

電話：086-225-2111 内線 87061（平日：8時30分～17時00分）

ファックス：086-232-8343

#### 3. 資金と利益相反

この研究において、資金の受入及び使用はありません。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。